

## 知的生産性に関する 評価ツール等の開発動向

平成 21 年  
3月19日(木)  
13:30 ~ 16:50

人口減少・少子高齢化の急速な進展、知識社会・情報化社会の進展、地球の持続可能性を脅かす脅威の増大が大きな課題となっている中、人口減少社会において持続可能な経済発展を実現するための手段として、生産性の向上が求められています。特に、知識社会への対応が必要不可欠である中、『知的生産性』の向上は重要なテーマとなっています。

建築分野では、安全・防災、衛生・快適などを設計目標として、我々の生活や生産のための基盤を提供してきましたが、知識社会に最適な建築、あるいは知的生産に適した建築という課題についての蓄積は浅く、この新しい課題は、建築分野が積極的に取り組んでゆくにふさわしい大きなテーマであるといえます。

分野の垣根を越え、関連する産学官の協力体制のもとに平成 19 年度より設立された「知的生産性研究委員会」(委員長:(独)建築研究所村上周三理事長)では、今後の建築分野におけるイノベーションを視野に入れつつ、知的生産性を向上させる建築環境に関する研究・開発を進めています。

今回のシンポジウムでは、研究活動の最新動向を広くご紹介し、また、設計者の視点からみた建築物の知的生産性について特別講演を行います。

オフィスや学校、公共施設など様々な知的創造の場における建築の役割について、また、知的生産性の向上がもたらす建築物の付加価値などについて興味をお持ちの方は、貴重な機会ですので、ぜひお誘い合わせの上お参加下さい。

### すまい・るホール

東京都文京区後楽 1-4-10 住宅金融支援機構本店 1 階

主催:(財)建築環境・省エネルギー機構

後援:国土交通省(予定)

■参加費 8,000円/人(資料代、消費税含む)

■定員 280名(先着順)

■申し込み方法 本リーフレットの裏面をご参照下さい。

■プログラム ※予告なく変更となる場合があります

#### 13:30 開会・あいさつ

国土交通省住宅局長 和泉 洋人氏(予定)

#### 13:35 「趣旨説明と委員会活動全体概要」(仮題)

知的生産性研究委員会委員長(独)建築研究所理事長 村上周三氏

#### 部会報告①

#### 13:50 「知的生産性の評価とCASBEE」(仮題)

経済性評価と格付部会長 慶應義塾大学教授 伊香賀 俊治氏

#### 部会報告②

#### 14:20 「知的生産性に係わる心理・生理評価ツールの紹介」(仮題)

基礎研究部会長 早稲田大学教授 田辺 新一氏

#### 14:50 休憩

#### 部会報告③

#### 15:00 「SAPシステム(主観調査システム)と予備調査」(仮題)

環境・設備部会長 千葉大学大学院教授 川瀬 貴晴氏

#### 部会報告④

#### 15:30 「オフィスワーカーの行動調査」(仮題)

建築空間部会長 京都大学教授 宗本 順三氏

#### 特別講演

#### 16:00 「設計者から見た知的生産性」(仮題)

日建設計(株)東京設計室長設計部門副代表 山梨 知彦氏

#### 16:40 質疑 ~ 閉会(16:50)